科目名 Subject	人体の美と科学Ⅰ Beauty & Science of Human Body Ⅰ			教員名	柏戸奈苗・森優紀	
開講年次	2	開講時期	前期	単位	1単位	
必修／選択	選択	授業形態	講義	時間	30時間	
実践的教育	○					
主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
	◎		○			
科目の概要	毛髪、肌、爪の容貌を整えるために、その科学的な基礎知識を持つことは必要不可欠である。うわべだけを整えるのは簡単であるが、その根本を整えるために知っておくべき知識を習得し真の美容を習得するために、皮膚の構造、皮膚の役割、皮膚の栄養、病気、感染症を学ぶ。また皮膚とも毛髪、爪の関係を知り、総合的な美容とは何かを学ぶ。					
授業方法	授業内容等により対面授業とオンライン授業を使い分けるハイブリット方式 （対面授業での実施を主とし、感染状況により密集を回避するため対面授業とオンライン授業を併用する可能性やオンライン授業に全てを切り替える場合もある）					
授業の目標	皮膚の構造を理解し述べることができる。皮膚と毛髪、爪の関連性を理解し述べることができる。皮膚の役割を理解し述べることができる。皮膚の真の栄養とは何かを知ることによって、自身の食生活、生活習慣を評価できる。皮膚の状態と健康状態を関係づけられる。美しく生きる基礎を築き、美齢学に応用できる。					
時間外学習（予習・復習）	毎回30分程度の予習と30分程度の復習を行っていただきます。予習：予習プリントを配布しますので、教科書を見て、基本構造を仕上げてください。復習：復習プリントを配布しますので、重要ノートを参考に仕上げて翌週提出してください。					
教科書・教材	教科書					
	教材	予習、復習プリントを配布いたします。				
	使用設備・備品					
	参考文献	全部わかる人体解剖図（成美堂出版）				
評価方法	①予習プリントと復習プリントの提出状況：10%②授業への取り組み：20%③定期試験の結果：70% ①②③について総合的に評価いたします。					
	なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。					
学生へのフィードバックの方法	定期試験の要点について、掲示にて解説を行います。					
履修上の注意	授業妨害とみなされる行為が確認された場合は退出していただくことがあります。Zoom使用目的以外の授業中の携帯・タブレットの使用について：原則禁止といたします。指示のある場合のみ使用してください。					
本科目履修と関連する資格	資格名	なし				

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第１回	オリエンテーション　皮膚の役割と特徴　皮膚の表面と断面の構造、表皮の構造と構成成分の役割と特徴	皮膚の役割を費用と関連付けて理解できる。基本的な皮膚構造を理解し、説明できる。	復習：復習プリント1.予習：予習プリント1
第２回	真皮、皮下組織の役割を学ぶ	皮膚の役割を美容と関連付けて理解できる。基礎的な皮膚の構造を理解し、説明できる。	復習：復習プリント2.予習：予習プリント2
第３回	皮膚の付属機関の構造-1.脂腺と汗腺の役割・つくり・働きについて学ぶ。	4つの皮膚の付属機関（脂腺・汗腺・毛・爪）のうち、脂腺と汗腺についての種類と構造を説明できる。	復習：復習プリント3.予習：予習プリント3
第４回	皮膚の付属機関の構造-2.脂腺と汗腺の役割・つくり・働きについて学ぶ。	5つの皮膚の付属機関（脂腺・汗腺・毛・爪）のうち、毛と爪についての種類と構造を説明できる。	復習：復習プリント4.予習：予習プリント4
第５回	皮膚の血管と神経-1.皮膚に栄養を与える血管について学ぶ。	皮膚の調子を整える神経系の基礎を理解し、皮膚との関係を説明できる。	復習：復習プリント5.予習：予習プリント5
第６回	皮膚の血管と神経-2.皮膚に栄養を与える血管について学ぶ。	皮膚に栄養や色を与える循環器系の基礎を理解し、皮膚との関係を説明できる。	復習：復習プリント6.予習：予習プリント6
第７回	第1回から第6回の総復習　血管と神経が肌に及ぼす影響について学ぶ	皮膚を構成する3部位とその付属器官・血管・神経について総合的に理解し、図説できる。	復習：復習プリント7.予習：予習プリント7
第８回	皮膚と付属器官の整理-1.皮膚の作用（保護・体温調節・知覚・反射）について学ぶ。	皮膚の体外保護作用・体温調節作用・知覚作用と皮膚反射について理解し、説明できる。	復習：復習プリント8.予習：予習プリント8
第９回	皮膚と付属器官の整理-2.皮膚の作用（分泌・排泄・再生）と毛と爪の役割について学ぶ。	皮膚の分泌・排泄作用・吸収作用・貯蔵作用・再生作用、爪と毛の作用について理解し。具体的に説明できる。	復習：復習プリント9.予習：予習プリント9
第１０回	皮膚と付属器官の保健-1.精神・栄養・体内病変が皮膚に与える影響について学ぶ。	精神・栄養・体内病変が皮膚に与える影響を理解し、具体的に説明できる。	復習：復習プリント10.予習：予習プリント10
第１１回	皮膚と付属器官の保健-2.水分・脂・ホルモンがが皮膚に与える影響について学ぶ。	水分と脂の状態およびホルモンが不皮膚に与える影響を理解し、具体的に説明できる。	復習：復習プリント11.予習：予習プリント11
第１２回	皮膚と付属器官の保健-3.理論に基づいた皮膚・爪・毛のお手入れ方法を学ぶ。	皮膚・爪・毛それぞれのお手入れ方法とその理由について具体的に説明できる。	復習：復習プリント12.予習：予習プリント12
第１３回	皮膚と付属器官の保健-4.非感染症の皮膚の疾患について学ぶ。	皮膚の疾患のうち、感染しない疾患の種類を挙げ、その特徴を説明できる。	復習：復習プリント13.予習：予習プリント13
第１４回	皮膚と付属器官の保健-5.感染による皮膚疾患について学ぶ。	皮膚の疾患のうち、感染する疾患の種類を挙げ、その特徴を説明できる。感染防止の方法を具体的に説明できる。	復習：復習プリント14.予習：予習プリント14
第１５回	まとめと解説	皮膚科学の全体像を説明できる。	復習：復習プリント15.（60分）